

御田小 研究だより

家庭数

令和2年8月25日
港区立御田小学校
校長 濱尾 敏恵

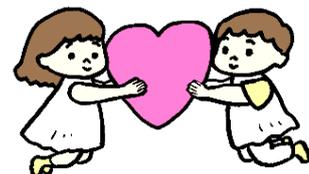
御田小学校では、今年度「人権教育」をテーマに校内研究を行っています。

高学年の人権教育目標

- ★社会の中の様々な人の思いに気付くことができる。
- ★より良い社会にしていこうと、自ら考え行動する。

第2回 研究授業報告

7月22日(水) 5年2組 授業者 伊藤 翔太
道徳「いじめを許さない心」



【授業のねらい】 ○いじめを見過ごさない心について考える。

○正義を貫くために自分にできることを考え、実践していこうとする態度を養う。

【人権教育の視点】 いじめの残酷さやいじめをなくすために必要なことについて考えることを通して、誰に対しても公正、公平に接し、正義を貫こうとする態度を育てる。

【授業の工夫】

関わり合いの場の設定

少人数のグループによる活動を通して、児童同士の間わり合いをもたせ自分自身について考えました。また、話し合いの中で気付き、自分の考えを深めたり変えたりすることができました。



一人一人のよさを引き出す工夫

グループ編成に配慮したり、一人一人の役割を明確にしたりしたことで、児童全員が活躍でき、交流が活発に行われました。

学びの実感をもたせる工夫

自分の考えを付箋に書き、それをグループで共有することで、さらに自分の考えを深めたり、広げたりすることができました。



〈授業を終えて〉

今回の学習では、自己の体験を含むさかなクンのメッセージから、いじめをなくし、正義の実現に努めることの大切さについて考えました。グループでの話し合いでは、「仲間外れにされた子」「いじめる子たち」「周囲の人たち」の立場の人に対して、どのような行動ができるのか一人一人が考えをもち、友達と交流することができました。「いじめはしない、許さない」という気持ちをもち、自分にできることを考えたことで、自己の生き方を見つめました。